



荒尾市人権フェスティバル実行委員長

## 亀原了円さん

かめはら・りょうえん 1955（昭和30）年生まれ。田倉在住。西養寺16代目当主。趣味はゴルフとカラオケ。特にゴルフは自身のスイングを研究するほど熱中している。ソフトバンクホークスの大ファン

「好き・嫌いという感情は誰にも備わっています。価値観・感性に違いがあっても、認め合うという姿勢が、互いの人権を尊重する上で大事です」と話すのは亀原了円さん。12月に開催される荒尾市人権フェスティバルの実行委員長を務めています。同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を市民と一緒に考え、心のぬくもりのあるまちを目指すイベントです。「人権を大切にするまちにしたいという思いを胸に、市内の幼稚園、小中学校や各種団体の皆さんが発表します。どの発表からも熱意が伝わってくるはずです」

亀原さんの人権についての原体験は京都での大学生活のとき。京都の被差別部落内にあるお寺に4年間下宿生活をしながら、檀家の家々をお経を唱えて回っていました。そこで目の当たりにしたのは被差別部落で生活する人々の実態でした。「知識として分かっていたことと、自身の体験として感じることは大きな違いがあると感じました。寝た子

を起こすなという意見もありますが、人には差別をしてみよう一面もある。人権問題を知ってもらい、啓発していくことは大切なことなんです」

人権教育を進めていく上でこのからの課題は、無関心化させないことと参加意識を啓発することだと亀原さんは考えます。「現代は自己中心的な人が多くなりましたが、多くの人や生き物の支えがあって、今の自分があるということとを分かしてほしい。人権フェスティバルをきっかけにそのことに関心を持ってもらえるとう嬉しいですね」と亀原さん。「多くの人が楽しめるイベントです。子どもたちの発表も心に残ると思います。障がいがありながら、ピアニストとして活躍されている人の講演もあります。リオパラリンピックで、障がいのある人の活躍に注目が集まっていますし、きつと何かを感じてもらえるはずですよ」

「目標は活動のバトンを後世につなげていくことです」と話す亀原さん。亀原さんの歩みは止まりません。



1 本井手みのり保育園では園長を務めています。「子どもたちには、『ありがとう』や『ごめんなさい』がきちんとと言える人になって欲しいですね」。2 法衣をまとった亀原さん。宗派は浄土真宗本願寺派です。3 休日にはゴルフでリフレッシュしています。4 昨年の人権フェスティバル。「育てよう 一人ひとりの 人権意識」をテーマに毎年開催しています

